

第2期鳥取市国民健康保険保健事業計画
（データヘルス計画）
【平成30年度～令和5年度】
事業の進捗状況報告

1 計画の概要（基本方針）

（1）計画策定の背景

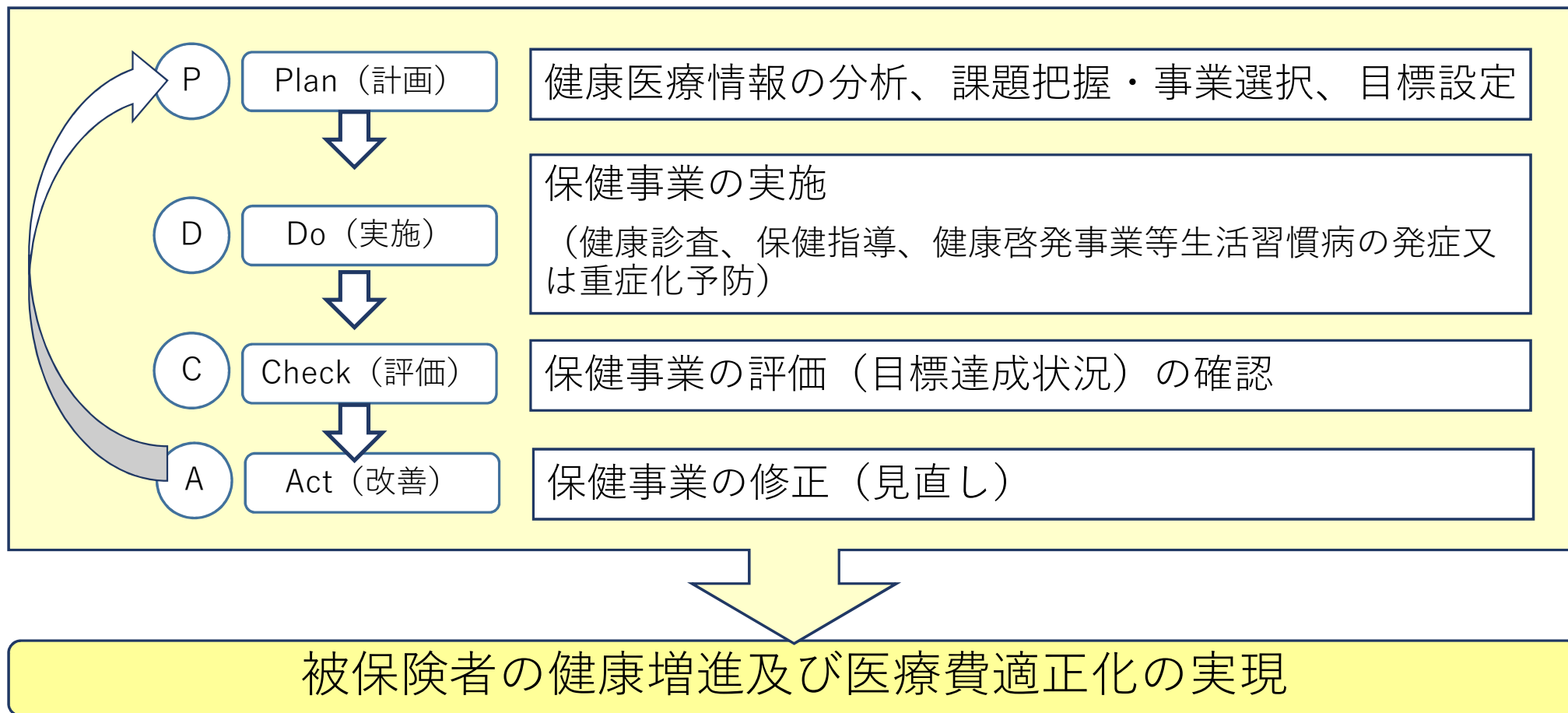
- ・ 保険者が保有する健康・医療情報を活用し、健康課題を明確化し、PDCAサイクルによる効果的かつ効率的な保健事業の実施が求められている。
- ・ 本市国民健康保険においては、健康・医療情報や第1期計画（平成26～30年度）に定める保健事業の成果（評価）等を踏まえて、第2期計画を策定し、計画的かつ効率的な保健事業の実施により、被保険者の生涯にわたる健康づくりの推進と国民健康保険財政等の安定化に取り組んでいる。

（2）計画の期間 平成30年度～令和5年度（6年間）

（3）計画の実施体制（事業の推進体制）

市の保健、医療、福祉等の部門の職員による組織（会議）が中心となり、鳥取市立病院、医師会、薬剤師会等の各種関係団体との連携を図りながら事業を推進する。

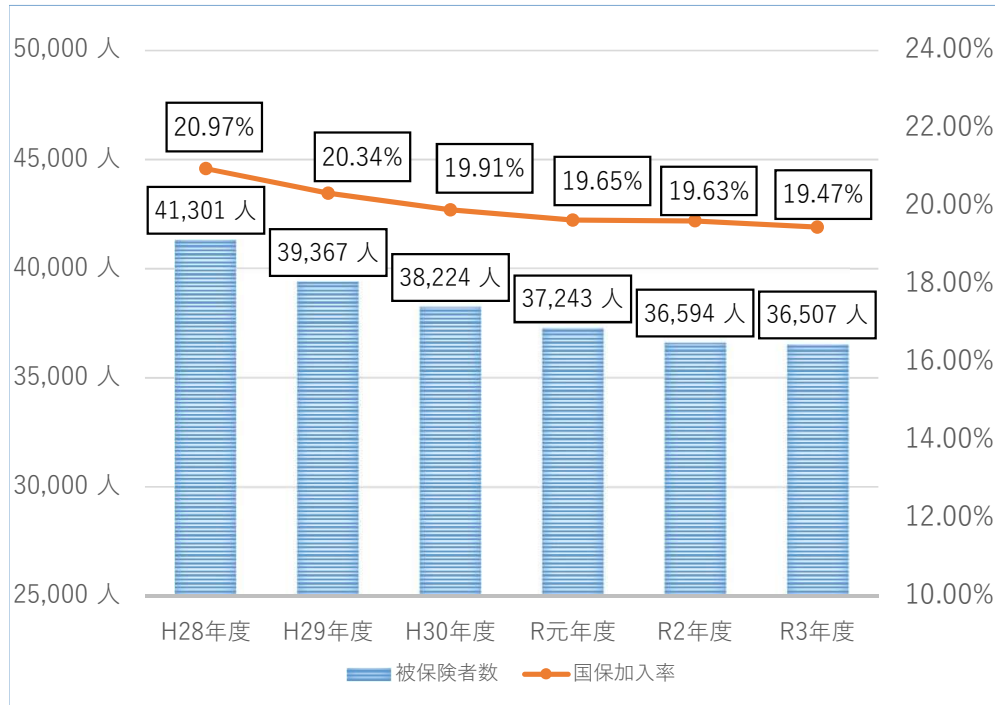
2 計画に基づく保健事業の取組み



※ P D C A サイクル

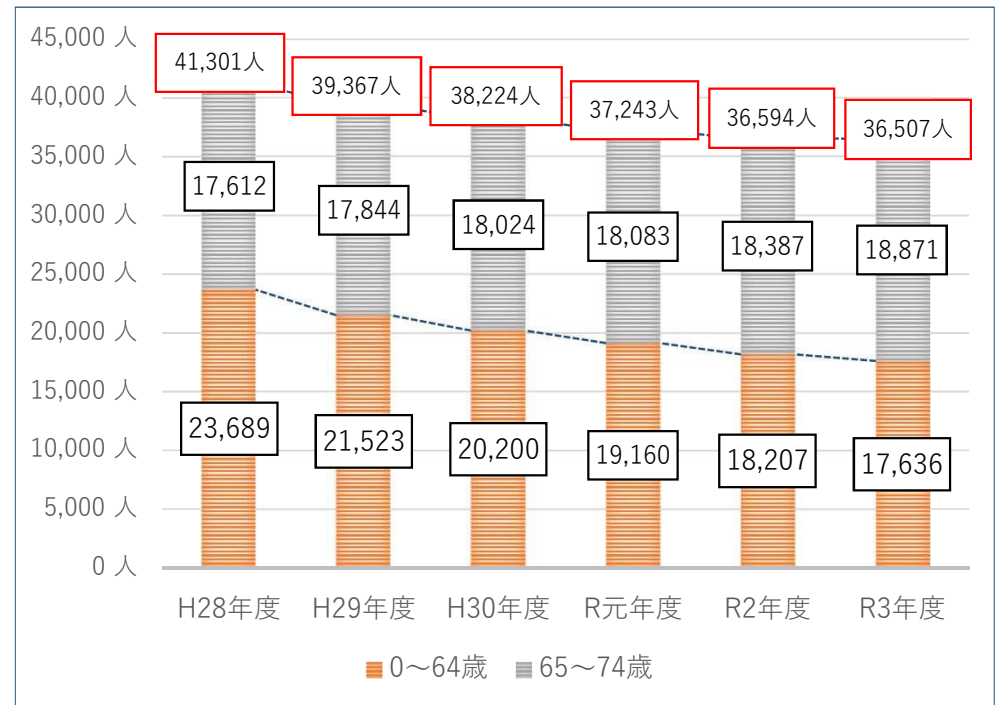
3 被保険者等の状況

①人口・国保被保険者数と加入率



- 人口減による被保険者数の減少し、加入率も低下傾向となっている。

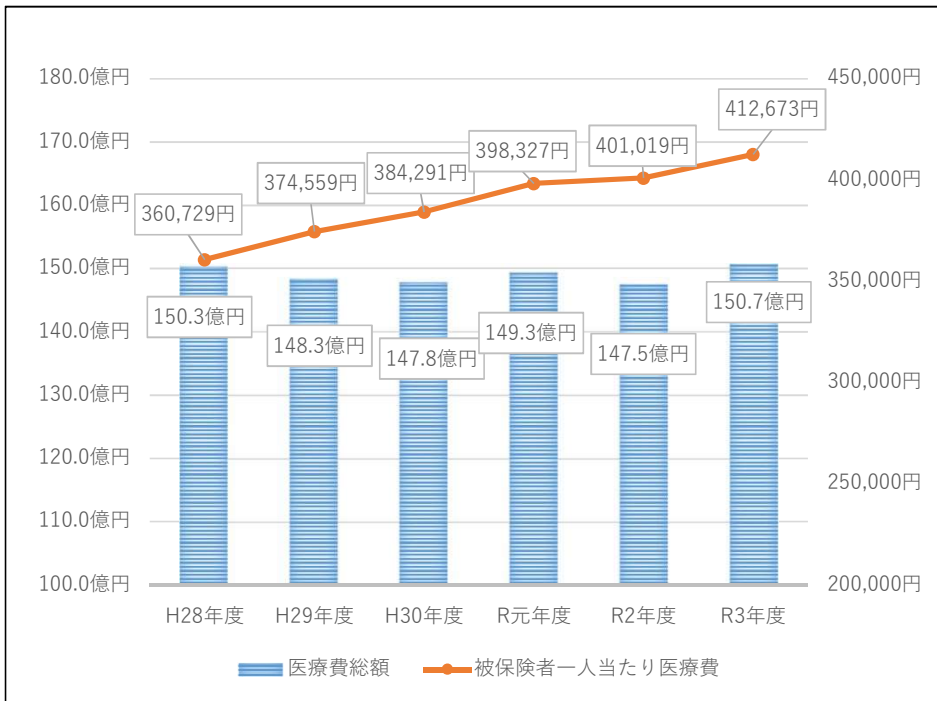
②年齢階層別被保険者数



- 前期高齢者（65～74歳）の年齢層の被保険者数が増加傾向。少子高齢化の年齢構成が続いている。

4 医療費等の状況

③一人当たり医療費の推移



④外来医療費に占める割合の順位 (疾病中分類)

順位	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1	糖尿病	糖尿病	糖尿病	糖尿病	糖尿病	糖尿病
2	腎不全	腎不全	腎不全	腎不全	腎不全	腎不全
3	高血圧性疾患	高血圧性疾患	高血圧性疾患	高血圧性疾患	その他の悪性新生物<腫瘍>	その他の悪性新生物<腫瘍>
4	脂質異常症	その他の心疾患	その他の心疾患	その他の心疾患	高血圧性疾患	高血圧性疾患
5	その他の心疾患	脂質異常症	その他の悪性新生物<腫瘍>	その他の悪性新生物<腫瘍>	その他の心疾患	その他の心疾患

- 一人当たり医療費は、年々増加傾向である。

- 糖尿病、腎不全、高血圧性疾患が外来医療費の上位を占めている。

5 保健事業（特定健康診査、特定保健指導）に期待される効果

1 特定健康診査

⑤生活習慣病の医療費

健診受診状況	医療費
受診あり	85,403円
受診なし	109,149円

⑥糖尿病、高血圧症、脂質異常症（※）併存率

健診受診状況	併存率
受診あり	7.0%
受診なし	11.0%

※第1期計画から重点3
疾病として位置付け

- 健康診査「受診あり」は「受診なし」より医療費が少ないことや「糖尿病」「高血圧症」「脂質異常症」の併存率も低いことから、健康診査の実施率を高めることは、生活習慣病の早期発見・治療による医療費の削減に繋がるとともに、身体状態の把握による健康意識の醸成などの効果が期待される。

2 特定保健指導

⑦特定保健指導利用の有無と医療費の状況

特定保健指導利用の有無	医療費
特定保健指導を利用、その後健診継続受診者	3,316,090円
特定保健指導未利用、その後健診未受診者	6,500,250円

- 特定保健指導の利用を契機に、健康意識が高まり、検診受診行動に繋がること
で、医療費削減の効果が期待される。

※医療費は、H27年度とH28年度の生活習慣病に関する疾患で治療したレセプトから集計

6-1 保健事業の取組み（R3年度目標達成）状況

事業名・内容	アウトプット評価（事業実施量）			アウトカム評価（成果）		
	指標	目標	実績	目標	実績（年度末時点）	
					R2年度	R3年度
1 特定健康診査 健診により対象者を把握し、必要な保健指導や医療に繋げる	特定健診実施率	R2年度 45.0%	32.4% (見込)	生活習慣病に特化した医療費減少	高血圧 : 421,476千円 糖尿病 : 721,305千円 脂質異常 : 243,819千円	高血圧 : 416,160千円 糖尿病 : 743,243千円 脂質異常 : 249,965千円
2 特定保健指導 健診結果から個々の状況に応じた生活習慣改善の支援・指導	特定保健指導実施率	R2年度 50.0%	31.8% (見込)	対象者の出現率10%以下	10.5%	9.8%(見込)
利用者の検査値（メタボ判定）改善率				指導年度（R1）24.2%	指導年度（R2）23.4%	
3 特定健診未受診者対策事業 健診未受診者への通知や訪問による受診勧奨等又生活習慣病治療中断者等への生活指導や健診受診勧奨	利用勧奨者の特定健診利用率	R5年度 30.0%	16.3%	特定健診実施率	32.9%	32.4%（見込）
4 特定保健指導未利用者対策事業 特定保健指導未利用者に対して、利用勧奨や生活習慣改善を指導	利用勧奨者の特定保健指導利用率	R5年度 30.0%	24.8%	特定保健指導実施率	35.4%	31.8%（見込）

※事業名の番号は第2期鳥取市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）評価シート（令和3年度年間評価）を参照している

6-2 保健事業の取組み（R3年度目標達成）状況

事業名・内容	アウトプット評価（事業実施量）			アウトカム評価（成果）		
	指標	目標	実績	目標	実績	
					R2年度	R3年度
7 糖尿病性腎症重症化予防事業 人口透析への移行を防ぐため、医師の指示のもと、生活（食事・運動等）改善を支援	生活改善実行率	R5年度 70%	100%	支援実施者に人工透析移行（病期進行）者「0人」	1人 ※R1年度までに当該事業の支援を受けた者	2人 ※R3年度までに当該事業の支援を受けた者
	検査値改善率（e-GFR HbA1c等）	R5年度 50%	38.9%			
9 糖尿病予防啓発キャンペーン 糖尿病予防等に関する啓発事業として血糖値測定や健康相談を実施	実施回数達成率	12回/年	58% (7回)	生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症）の患者数の減少	15,527人	15,475人
	啓発対象者達成率	年間 600人	48.3% (290人)			
10 お気軽健康チェック 健康意識の醸成を図るため身体測定HbA1c 栄養・運動指導、健康相談を実施	実施回数達成率	12回/年	25% (3回)			
	啓発対象者達成率	年間 120人	37.5% (45人)			
14 ジェネリック医薬品利用促進 ジェネリック医薬品差額通知、出前講座の開催等啓発事業を実施	普及率が前年度と比較して5%向上	R2年度 80.9%+ 5%=85.9% %	R3年度 80.4% (-0.5%)	R5年度 普及率80%	80.9% (R3.3)	80.4% (R3.9)

※事業名の番号は第2期鳥取市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）評価シート（令和3年度年間評価）A3判を参照している

令和3年度の啓発事業について（一部抜粋）

●糖尿病予防啓発キャンペーン

簡易血糖値測定と医師や管理栄養士等による健康相談。7会場で実施し、290人の参加があった。事業の参加状況はコロナ以前に戻りつつある。地域のイベントが実施されないなど大規模なイベントでの啓発活動が難しい状況が続いているが、コロナウィルス感染拡大防止対策を講じながら生活習慣予防対策事業を実施した。



（令和3年6月 市役所麒麟スクエア1階）

●お気軽健康チェック

血圧、簡易血糖値測定及び講話や実技による食事・運動指導。3会場で45人の参加があった。このうち、3年度は、地域の健康づくり地区推進員と連携し、1地区で実施することができた。このほか募集人員を10人から15人に増やすなど、より多くの方に参加していただけるよう工夫した。



（令和3年9月 地区公民館）

令和3年度の啓発事業について（一部抜粋）

●COPD（慢性閉塞性肺疾患）の早期発見に向けた啓発事業

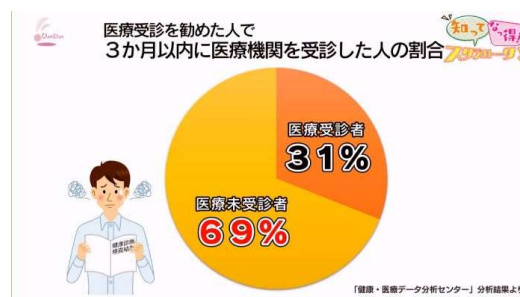
肺年齢測定が出来ない状況であるため、前年度に引き続き、肺の日や世界COPDデーに合わせた啓発活動を実施。中央図書館では、展示内容に合わせて関連図書の配架を行い、より関心を深めてもらうよう工夫した。



(COPDの予防啓発展示と関連図書の紹介)

●広報活動の推進

「特定健診の大切さ」をテーマに国保連の職員とともに鳥取市の広報番組で啓発を実施。国保連の健康・医療分析センターの分析結果を活かして特定健診の受診と健診受診後の医療機関受診を勧める啓発を行った。また糖尿病予防啓発キャンペーン等の啓発事業の広報も同時に実施した。（7/2～7/3放送）



(令和3年7月 市広報番組での啓発)